大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

学校通信

平成２７年１２月２５日
No.３５

吹奏楽部　クリスマスコンサート

23日は、西仙北中央公民館で、１・２年生の吹奏楽部員18名によるクリスマスコンサートが行われました。このコンサートは開校以来続けておりますが、昨年はインフルエンザが流行して開催できませんでした。３年生引退後、１・２年生部員だけによる初めてのコンサートです。

プログラムは３部構成で、「ブルー・リッジの伝説」「元禄」「ディズニー・ブロック・バスターズ」「オーメンズ・オブ・ラブ」「鉄腕アトム」「ディープ・パープル・メドレー」の曲を次々と演奏、部員18名とは思えない迫力のある演奏で、クリスマスにふさわしいプレゼント演奏となりました。

コンサートの内容は、ハンドベルの演奏や部員の合唱もあるなど工夫された構成で、司会進行もいつものとおり部員でした。ストーリー性のある曲の紹介や楽曲の成立などのうんちくも織り込まれており、懐かしい「鉄腕アトム」の曲にリズムをとる方もいらっしゃいました。

最後のアンコールに応えた「第九」は会場が一体となった演奏になりました。吹奏楽部の皆さん、またご支援いただいた保護者会の皆様、お疲れ様でした。会場にお出でいただいたたくさんの市民の皆さん、ありがとうございました。

体育館工事終了

12月の第２週に行われていた体育館の照明の補強工事及びＬＥＤ切り替えが無事終わり、より安全で明るい体育館です。実際、体育館はたいへん明るくなり、なお一層、体育の授業や部活動に打ち込める環境になりました。

「見てください。この照明、消しても、すぐに再点灯できるんですよ。すごいでしょ。」生徒が喜んで教えてくれました。関係者の皆様、ありがとうございました。

今年の最後は優勝！　桜中学校招待バスケ

12日行われた「桜中学校招待バスケットボール大会」において、本校が見事優勝しました。

４校のリーグ戦で行われた大会でしたが、第１試合で井川中学校と対戦、81-45で勝ちました。第２試合は、土崎中学校と対戦、リードしても追いつかれるという試合展開になりましたが、接戦の63-61で勝利しました。先の全県大会の経験が生かされた試合のようです。

最終の第３試合では、ホスト校桜中学校と対戦、56-42で勝つことができ、見事優勝を果たしました。今年最後の大会を優勝というすばらしい結果で締めくくってくれました。選手及び関係者の皆様、おめでとうございます。また、ありがとうございます。

異文化交流　AIU留学生来校

11日は、大仙市男女共同参画・交流推進課及び教育委員会で進めている「異文化交流プログラム」により、本校に国際教養大学の留学生４名が来校し、生徒と交流してくれました。

台湾やベトナム、アメリカからの留学生と、全学年がそれぞれ１時間ずつ交流をしました。また、給食も一緒に食べていただきました。留学生が自分や出身国について自己紹介した後、生徒も自己

紹介をして、留学生に好きなスポーツや食べ物、じゃんけんや数の数え方など、いろいろな質問をして笑顔で互いの文化や習慣の理解を図りました。

国際化、情報化が進む中、英語の重要性はますます増してくることと思います。生徒の皆さんには国際人として活躍する日本人として英語等のコミュニケーション能力をさらに伸ばしていってほしいと思います。デンマーク、フィンランド、そして留学生、西仙北中学校の国際色も広がってきております。

義務教育課副主幹
南教育事務所指導主事　来校

15日は、秋田県教育庁義務教育課指導班赤川副主幹及び南教育事務所大石指導主事が来校の上、ご指導をいただきました。

お二人には、全学級の授業を見ていただきました。１年生は、理科「光の世界」、社会科「北アメリカ・南アメリカ・オセアニア」、２年生は、数学科「三角形と四角形」、美術科「ふるさと再発見！！地域の創作和菓子をつくろう！」、３年生は技術科「エコキューブラジオの製作」、家庭科「身近な消費生活と環境」の授業でした。

お二人からは、生徒の表情がよく、どの教室も学びの場としての雰囲気がよかったと褒めていただきました。先生方には、今後の教育界の動向を察しアクティブ・ラーニング等を踏まえた授業づくりを考えるとともに、生徒の学習における自己決定の場面を大事にして、生徒を育ててほしいと助言していただきました。また、これからの学校は、生徒が困った時に素直にＳＯＳを発信でき、それを誰でも受けとめられる学校体制を築くことが重要で、生徒・保護者等と教職員のさらなる信頼関係構築が大事であるともお話いただきました。お二人のご指導を今後に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

人権擁護作文
協議会長賞　1年佐々木(玲)君

秋田地方法務局大曲支局で募集していた「人権標語・作文コンテスト」において、作文「ほめられる幸せ」で「大曲人権擁護委員協議会長賞」を受賞した１年佐々木（玲）君の表彰がありました。

17日は、地域人権擁護委員の佐々木さん、森さん、三浦さんの３名の委員の方々が来校の上、校長室において、佐々木（玲）君に賞状を伝達してくださいました。佐々木委員からは、「実践していることを踏まえ来年も応募してください。」と話され、佐々木（玲）君は、「賞に選んでいただいてうれしいです。作文に書いたことをこれからも目標として実践していきたいです。」と応えておりました。おめでとうございます。

人権について考え実践していくことは、中学生の成長過程としても大切なことです。また、作文入賞という文化面での活躍は、運動面と合わせ文武両道に亘る本校生徒の姿としてうれしく思います。

3年生　租税教室

22日は、税理士の有明先生にお出でいただき、３年生の租税教室を開催しました。これは、「次代を担う生徒が、正しい知識を身に付け、社会生活における税の意義や役割を正しく理解すること」をねらいに行われた教室です。

有明先生は、「３年生は、今、進路希望決定の時期と受検勉強でたいへんでしょう」と、生徒の現状を理解しつつ、受検の心構えや自分の信条を話しながら、具体的に社会科や英語科の受検対策も交えながら、税についてお話してくださいました。

先生は、大曲中学校から横手高校、慶応大学に進まれ、家業の菓子店を継ぐために地元に帰られたそうです。その後、菓子店を経営しながら、税理士の資格を取得され、事務所を開設したという方でした。税理士の資格取得には4000時間（１日10時間の勉強を約２年）の勉強が必要といわれているそうで、それを克服しての現在とのお話でした。３年生の興味・関心を引き出しながら、日本の超過累進課税である所得税や相続税、贈与税等について、１億円のお札の見本、パワーポイントを用いたプレゼンテーション等を駆使して、たいへん分かりやすく教えていただきました。１時間があっという間の有意義な租税教室でした。有明先生、お忙しい中、ありがとうございました。

今年一年たいへんお世話になりました。
平成28年が皆様にとりまして輝かしい年になることをお祈りいたします。
西仙北中学校職員一同